28-11 役員会 議事概要

日 時 平成28年7月28日(木)10:00~11:50

出席者 学長, 山本, 鶴岡, 尾西, 加納, 尾藤 各理事

列席者 富樫, 吉岡, 西村, 安間, 堀, 後藤(基), 伊藤 各副学長 武田参与, 服部, 山中 各監事

Ⅰ. 審議事項

1. 生命科学研究支援センター助教の採用(再任)について 野阪生命科学研究支援センター長から、「資料:審-1」に基づき、生命科学研究支援センター助教の採用(再任)についての説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

- 2. リサーチセンターに関する規程の制定等について 鶴岡理事から、「資料: 審-2」に基づき、リサーチセンターに関する規程の制定等につい ての説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
- 3. ソフィア大学(ブルガリア)との国際交流協定の締結について 堀副学長から、「資料:審-3」に基づき、ソフィア大学(ブルガリア)との国際交流協定の 締結について、人文学部を中心に忍者文化に関する研究交流を今後実施していくこと、語学 研修の留学生を国際交流センターで実施している日本語コースへの受入が今後見込まれること等についての説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
- 4. 三重大学グローバル化戦略について

堀副学長から,「資料: 審-4-1, 4-2」に基づき, 三重大学グローバル化戦略についての「目的」,「目標」,「戦略」についての説明の後, この件については, 本日初めて役員会へ提示するものでもあるため, 国際戦略本部からの案として提示することとし, 具体的な内容等について意見聴取し, 取りまとめを行い9月の役員会に諮ることとした。

- 5. 国際交流センター特任教員(教育担当)の選考について 堀副学長から、「資料:審-5、席上配付資料」に基づき、国際交流センター特任教員(教育担当)候補者の選考についての説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
- 6. 大学教職員の採用等協議について 企画総務部人事課長から、「資料:審-6」に基づき、説明があり、審議の結果、原案どお り承認された。
- 7. その他 なし
- Ⅱ. 協議事項

なし

Ⅲ. 報告事項

1. 平成28年度教育GPの選考結果について

山本理事から、「資料:報-1」により、平成28年度教育GPの選考結果について8件の申請があり、そのうちの3件を採択した旨の報告があった。

2. 医学部附属病院収支報告について

伊藤副学長から,「資料:報-2」により,医学部附属病院収支についての報告があった。また,附属病院の経営に関しては、役員会(理事会)の意見をしっかり受けることが必要である旨,厚生労働省等から助言されていることについての報告があり,種々意見交換を行った。

次回役員会では収支報告以外のテーマを決めて意見交換をすることとした。

3. 平成 28 年度公的研究費コンプライアンス教育 e-learning の実施について 尾藤理事から、受講率に応じた研究費の配分措置案については、役員会で協議、教育研究 評議会での意見交換において各部局等で受講率を100%とすることとした決議を踏まえ、 特に実施しないこととした旨の説明があった後、平成 28 年度公的研究費コンプライアンス 教育 e-learning の実施についての報告があった。

4. 平成28年度資金運用状況(第1四半期分)について

財務部長から「資料:報-4」により、平成28年度資金運用状況(第1四半期分)について年度当初見込み額を上回ったこと等についての報告があった。

5. 学長の裁量による若手教員の増員措置について

学長から、「資料:報-5、席上配付資料」により、学長の裁量による若手教員の増員措置 についての報告があった。

6. 平成 28 年度光熱費及びエネルギー使用量報告

施設部長から、エネルギー削減計画として、6年間で6%を削減することを目標としている旨の説明の後、「資料:報-6」により、6月までの光熱費及びエネルギーの使用量についての報告があった。

7. その他

- ①施設部長から、7月14日役員会で提示した工事発注計画において、附属病院基幹環境 整備工事の完成(予定)期間が延長されることについての説明があった。
- ②財務部長から、7月27日に概算要求事項を提出した旨の報告があり、その協力に対する 謝辞があった。
- ③三重大学紹介DVDについて

後藤(基)副学長から、広報用の三重大学紹介DVDが出来上がったので、本日視聴し、意見をいただきたい旨の報告があった。

なお、まだ完成ではなく、ナレーション等についての変更、部分的な映像の差し替えの 予定をしており、内容については、約13分間、前作よりかなり変更をしていること、学 びと研究を主張することを考えていること、視聴は一般の方、特に高校生、それにつなが る中学生が三重大学への進学を目指してもらえるようにしたいと考えている旨の説明があ った。

また,海外から留学生獲得のためのプロモーション用とし,英語版の作成も予定している旨の付言があった。

以 上